

寸言

ルネサスエレクトロニクス株式会社
執行役員常務

大村 隆司



安全・安心な半導体技術の追求と航空宇宙産業への貢献

ルネサスエレクトロニクス株式会社の執行役員常務の大村でございます。この度は一般社団法人日本航空宇宙工業会への入会をご承認頂くとともに、歴史と伝統のある会報誌「航空と宇宙」の寸言に寄稿する機会を頂いたこと、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

当社は、日本の半導体産業の中核を担ってきた、日立製作所と三菱電機の半導体部門（電力制御用半導体を除く）が2003年に分社・統合して設立したルネサステクノロジー社と、2002年に日本電気の半導体部門が分社独立したNECエレクトロニクスが、2010年4月に合併し、現在のルネサスエレクトロニクスとして設立されました。

当社では、自動車分野向けや、産業分野向けの半導体製品を中心に、国内・海外の多くのお客様向けに、グローバルな半導体事業を行っております。特に自動車分野向けのマイコン事業においては、世界市場の4割を握るなどトップシェアを確保しております。お客様である世界中の自動車メーカー様やカーエレクトロニクス・メーカー様からも、弊社の高い技術力と高い品質サポートをご評価頂き、多くの信頼を頂いております。

2011年の3月に発生した東日本大震災では、生産工場が大きな被害を受け、お客様への製品供給が滞る事態になりました。しかしながら、その復旧に際し、高品質な製品は当社以外にはないという励ましも含め、自動車業界を始め、多くのお客様からのご支援により、予

定より3ヵ月も早く、生産を再開する事ができました。このような貴重な経験をもとに、当社は今、新たな方向性として、安全・安心な半導体技術をベースにした社会への貢献を目指しております。

自動車分野においては、各国でCO₂削減など環境規制が年々厳しくなる中、先端の半導体技術による低燃費化や、最新のEVやHEVなどのeモビリティ技術への対応も強化しています。また、自動車業界のお客様から強いご要求のある、車両制御における高い安全性を実現する機能安全技術や、今後の高齢化にも対応する安全運転支援技術、IT産業との連動が重要になる中でのセキュリティ技術への取り組みなど、安全・安心なクルマ社会の実現に向け、これからも半導体メーカーとして貢献していきたいと強く考えています。

また、これらの環境対応技術や、安全・安心に対する様々な技術は、厳しい環境でのシステム安全性が極めて重要である航空宇宙産業にも貢献できるものであると認識しております。宇宙産業分野に関しては、今までも小惑星探査機「はやぶさ」(MUSES-C)では、当社の低電力で動作するマイコンが、高い信頼性と省エネルギー動作の特徴をご評価頂き、その中核部品として搭載されました。

今後とも自動車向け半導体で培った高い信頼性、機能安全技術、セキュリティ技術や、経験をベースに、航空宇宙産業に是非とも貢献していきたいと考えております。